

様式第4の木 (第4条、第5条関係)

地下タンク貯蔵所構造設備明細書

①	事業の概要	医療製品の開発・製造 (原料の貯蔵)			
②	タンクの設置方法	タンク室 ・ 直埋設 ・ 漏れ防止			
③	タンクの種類	鋼製タンク・強化プラスチック製二重殻タンク 鋼製二重殻タンク・鋼製強化プラスチック製二重殻タンク			
タンク の 構 造 、 設 備	形状	④ 横置円筒型	⑤ 常圧 ・ 加圧 (kPa)		
	寸法	⑥ 全長：10,148 mm 内径：2,400 mm 胴長：9,198 mm 鏡出：446 mm	容量	⑦ 40,000 ℓ (20,000/20,000)	
	材質、板厚	⑧ 銅板9 mm (SS400)、鏡板9 mm (SS400)、中仕切板9 mm (SS400)			
	外面の保護	⑨ SFタンクの被覆 (KHK試験確認)			
	危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要	⑩ SFタンク用漏洩検知設備 (KHK試験確認)			
	⑪ 通気管	種別	数	内径又は作動圧	
		無弁通気管	2	50 mm kPa	
	⑫ 安全装置	種別	数	作動圧	
		—	—	— kPa	
	可燃性蒸気回収設備	⑬ 有 (ベーパーリカバリー) ・ 無			
液量表示装置	⑭ 高精度液面計 (常時監視)	引火防止装置	⑮ 有 ・ 無		
タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要	⑯ 基礎の厚さは450 mm、上蓋の厚さは300 mmの鉄筋コンクリート造とし、支柱は6本で鉄筋コンクリート造とする。 タンクは鋼帯の固定バンド (4箇所) とアンカーボルト (M24) で固定する。				
注入口の位置	⑰ 遠方注入口 (別紙参照)	注入口付近の接地電極	⑱ 有 ・ 無		
ポンプ設備の概要	⑲ ギャポンプ2基 (0.5Mpa、モーター2.2 kW、耐圧防爆構造)				
配管	⑳ 地上配管：SGP 防錆塗料 (JIS G3452) 埋設配管：PEL ポリイソ被覆 (JIS G3469)				
電気設備	㉑ 電気設備の技術基準による				
消火設備	㉒ 第5種 粉末ABC消火器10型 2本				
⑳	工事請負者住所氏名	千葉県富津市下飯野 2509 番地 1 危険物保安推進株式会社 責任者 富津 危太郎 電話 0439-88-6405			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

2 「直埋設」とは、地下貯蔵タンク (二重殻タンクを含む。) をタンク室以外の場所に設置する方法 (地下貯蔵タンクを危険物の漏れを防止することができる構造により地盤面下に設置する方法を除く。) をいう。

3 「鋼製強化プラスチック製二重殻タンク」とは、令第13条第2項第2号イに掲げる材料で造った地下貯蔵タンクに同項第1号ロに掲げる措置を講じたものをいう。

【地下タンク貯蔵所 構造設備明細書記入要領】

《共通事項》

- ・製造所又は一般取扱所の20号タンク場合は、②から⑱までについて記入し、その他の欄は斜線等を記入すること。
- ・該当しない欄は斜線等を記入し、該当しないことを明確にすること。
- ・所定の欄に記入できない場合は〔別紙参照〕と記入し、別紙に当該内容を記入すること。

①「事業の概要」

地下タンク貯蔵所が設置されている事業所の主たる事業概要を記入し、貯蔵目的を括弧書きで記入する。

②「タンクの設置方法」

埋設方法について、該当するものを○で囲む。

③「タンクの種類」

当該タンクの種類について、該当するものを○で囲む。

④「形状」

タンク形状を記入する。

《参考》

タンク形状
横置円筒型
縦置円筒型
角型
その他

⑤「常圧・加圧」

圧力が5kPa（水柱500mm）以下のタンクは「常圧」を○で囲み、その他のタンクについては「加圧」を○で囲み、その圧力を記入する。

⑥「寸法」

タンク形状に応じて、次により記入する。

タンク形状	記載項目
横置円筒型	内径、胴長、鏡出、全長
縦置円筒型	内径、高さ（側板の底部からトップアングルまでの高さ）
角型	縦（奥行）、横（幅）、高さ

⑦「容量」

危政令第5条第2項に規定するタンクの容量（タンク検査済証に記載された容量）を記入する。また、中仕切りの場合は、各室の容量を括弧書きで記入する。

⑧「材質、板厚」

当該タンクの各部分（胴長、鏡出、中仕切板等）の板厚を記入し、材料記号を括弧書きで記入する。

⑨「外面の保護」

危規則第23条の2に規定する地下貯蔵タンクの外面の保護措置の概要を記入する。

なお、電気防食若しくは内面コーティング又は危険物保安技術協会（以下「KHK」という。）試験確認を受けている場合は、その旨を括弧書きで記入する。

<記入例>

- ・エポキシ樹脂塗覆装（プライマ-塗布後、ヘッシャクロス巻付、被覆厚 2mm 以上/内面コーティング）
- ・アスファルト塗覆装（プライマ-塗布後、アスファルトエナメル+ヘッシャクロス巻付、被覆厚 3mm 以上/電気防食）
- ・FRP 塗覆装（プライマ-塗布後、ガラスマット積層、被覆厚さ 2mm 以上）
- ・SF（FF）タンクの被覆（KHK 試験確認）

⑩「危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要」

危政令第13条第1項第13号若しくは危政令第13条第2項第1号イ又はロに規定する危険物の漏れを検知する設備又は危政令第13条第3項に規定する危険物の漏れを防止することができる構造について該当するものの概要を記入する。

なお、KHKの試験確認を受けているSF（FF）タンク用漏洩検知設備の場合は、括弧書きで（KHK試験確認）と記入し、財団法人全国危険物安全協会の性能評価を受けた常時監視装置の場合は〔高精度液面計（全国危険物安全協会性能評価）〕等と記入する。

<記入例>

- ・漏洩検知管（4箇所）
- ・高精度液面計（全国危険物安全協会性能評価）
- ・FFタンク用漏洩検知設備（KHK試験確認）
- ・タンク外面コンクリート被覆構造（漏れ防止構造）
- ・二重殻タンク検知層+液面センサー+警報装置

⑪「通気管」

ア「種別」

〔無弁通気管〕又は〔大気弁付通気管〕の別を記入する。

イ「数」

当該タンクの通気管の設置数を記入する。

ウ「内径又は作動圧」

無弁通気管にあつては内径を記入し、大気弁付通気管にあつては内径及び作動圧を記入する。

⑫「安全装置」

ア「種別」

当該タンクが圧力タンクの場合に記入するものとし、危険物の規制に関する規則（以下「危規則」という。）第19条第1項各号に掲げる種別のうち該当するものを記入し、装置の種類を括弧書きで記入する。

《参考》

種別（危規則第19条第1号）
自動的に圧力の上昇を停止させる装置（バランスベローズ式安全弁、ばね式安全弁等）
減圧弁（減圧側に安全弁を取り付けたもの/レギュレーター、二段式減圧弁等）
警報装置（安全弁を併用したもの/圧力スイッチ+警報回路等）
破壊板（逆圧防止付破壊板等）

イ「数」

安全装置の設置数を記入する。

ウ「作動圧」

作動圧を記入する。

⑬「可燃性蒸気回収設備」

可燃性蒸気回収設備の有無について、該当するものを○で囲む。
なお〔有〕の場合は、括弧内に設備の概要を記入する。

⑭「液量表示装置」

液面計の種類、型式等を記入する。

⑮「引火防止装置」

通気管の引火防止装置の有無について、該当するものを○で囲む。

⑯「タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要」

次によりそれぞれ記入する。

ア タンク室以外：基礎、上蓋、支柱の構造等及びタンク基礎への固定方法の概要を記入する。

イ タンク室：タンク室の頂板、側壁、底板の構造及び内部仕上げ方法等の概要を記入する。

<記入例> タンク室の場合

頂板、側壁、底板の厚さは 450 mm の鉄筋コンクリート造とし、タンクは鋼帯の固定バンド（4 箇所）とアンカーボルト（M24）で固定する。

⑰「注入口の位置」

当該タンクに移動タンク貯蔵所等から受け入れる注入口がある場合、注入口の設置場所を記入する。

なお、専用タンクの真上にある注油口から注油する場合は〔直上注油口〕、離れた位置にある注油口から注入する場合は〔遠方注入口〕と記入し、製造所等から配管により受け入れる場合はその旨を記入する。

<記入例>

〇〇棟（製造所）から配管で注入

⑱「注入口付近の接地電極」

注入口付近の接地電極（ローリーアース等）の有無について、該当するものを○で囲む。

⑲「ポンプ設備の概要」

当該タンクの受払いを行っているポンプの種類及び設置数を記入し、最大吐出圧力、原動機の種類、出力及び防爆構造の種別又は記号を括弧書きで記入する。

<記入例>

プランジャーポンプ 4 基（1.0Mpa、モーター0.75 kW、安全増防爆形）

⑳「配管」

危険物を取り扱う配管について、地上配管と埋設配管に分け、それぞれ材質及び外面保護方法を記入し、JIS 規格番号を括弧書きで記入する。

㉑「電気設備」

電気設備の種類、防爆構造の種別及び設置数を記入する。

ただし、電気設備が多岐にわたる場合は〔電気設備の技術基準による〕と記入することができる。

㉒「消火設備」

危政令別表第 5 の規定による消火設備の区分（第 1 種～第 5 種）、設備名及び設置数を記入する。

《参考》

区分	設備名
第1種消火設備	屋内消火栓 屋外消火栓
第2種消火設備	スプリンクラー設備
第3種消火設備	水蒸気消火設備 水噴霧消火設備 泡消火設備 不活性ガス消火設備 ハロゲン化物消火設備 粉末消火設備
第4種消火設備	大型消火器
第5種消火設備	小型消火器・乾燥砂・膨張ひる石・ 膨張真珠岩・水バケツ・水槽

⑳ 「工事請負者住所氏名」

工事請負者の住所、氏名（法人の場合は、主たる事業所の所在地、法人名及び当該工事の責任者名）及び電話番号を記入する。